

高崎高校×東京大学「睡眠科学プロジェクト」

1 目的

東京大学で行われている睡眠科学研究の一連のプロセスを体験することで、先端研究に関する知見を深める。研究倫理やインフォームドコンセントに関する理解を深める。

2 概要

東京大学大学院医学系研究科の岸哲史先生のご指導の元、加速度センサーを用いたウェアラブル端末(リストバンド)を1週間装着し、睡眠データを収集した。測定後は、分析結果を共有していただき、どのようなことが分かったかを考察した。この一連のプロセスの中で、研究倫理について理解を深めた。

令和4年度からこの取組を開始し、これまで3年間、毎年1、2年生合わせて約500名が参加している。この取組は上毛新聞の1面トップ記事にも取り上げられた。



令和6年度には本校卒業生でもある2名の方を講師として、睡眠×起業をテーマとしたアントレプレナーシップ講座も実施した。

<アントレプレナーシップ講座>

(1) 対象

2年生全員

(2) 日時・会場

令和6年9月11日(水)

14:05～15:05 高崎高校 翠巒会館

(3) 講師

株式会社 ACCELStars

代表取締役 CEO 宮原 禎 氏(本校 OB)

東京大学大学院医学系研究科

特任講師 岸 哲史 氏(本校OB)

(4) 内容・所感

- ・ヒト睡眠測定と睡眠に関する学術的見地
- ・東京大学発の睡眠ベンチャーについて
- ・アントレプレナーシップの考え方

岸氏からは、これまでの高崎高校の睡眠測定データを交えながら、ヒトの睡眠について学術的な観点からお話いただいた。宮原氏からは自身が経営する東大発の睡眠ベンチャーとして、学術的見地をビジネスと結び付けた経緯やアントレプレナーシップについての考え方をご教授いただいた。同じ高崎高校で学んでいた卒業生が、東京大学で再び、学問やビジネスと一緒に協働している事例を目の当たりにすることで、身近なロールモデルを知る機会となるとともに、先端研究や起業についての理解を深めることができた。

